



# 野田中だより

人間市立野田中学校学校だより No. 1

令和6年4月9日発行



今年度3年目となりました校長の倉根勝彦です。今年度も本校のために全力を尽くしてまいる所存です。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、令和6年度は、新入生109名を迎え、生徒341名でスタートを切りました。それぞれの生徒・職員が、新たな決意を胸に秘め、本年度の野田中学校づくりが始まりました。また、本年度も学校教育目標を「自主・自立・貢献」とし、自ら目標を立てて行動でき、集団を通して成長を期するとともに、他者の力になれる生徒を育成していきます。

本年度も、保護者の皆様・地域の方々と力を合わせ、全力で学校経営にあたるとともに、野田中学校の閉校に向けて心に残るものにし、スムーズな統合を進めます。保護者並びに地域の皆さまにおかれましては、本年度も引き続き本校の教育活動に対し、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 新入生を迎えて

## 入学式学校長式辞より一部

新入生109名の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を私たち教職員、また、在校生ともに心待ちにしていました。皆さんが早く中学校に慣れ、充実した学校生活が送れるようバックアップしていきます。

さて、私からは、皆さんが充実した学校生活を送るための心構えを話します。それは、「全員がどんどんチャレンジし、例え失敗しても、皆で許し合える集団を作ってください」ということです。皆さんの小学校時代は、いろいろなことにチャレンジしてきましたか。

皆さんの中には、チャレンジすることに、尻込みしたときもあったかもしれません。なぜ、尻込みをするのでしょうか。それは、間違ったら恥ずかしいなどの気持ちがあるからです。しかし、もし、皆さんのクラスや学年が、間違いをお互いに許せる集団であつたら、恥ずかしいという気持ちが薄れ、失敗することも気にならなくなるはずです。皆さんは中学校で大きく成長したいと願っています。そのためには、多くのことにチャレンジしなくてはなりません。多くのことにチャレンジすると、当然、成功もありますが、失敗もあります。問題は、失敗をしたときにお互いを許せる雰囲気があるかです。一つ詩を紹介します。蒔田晋時さんの「教室はまちがえるところだ」という詩です。



|                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 教室はまちがえるところだ                 | みんなどしどし手を上げて      |
| まちがった意見を言おうじゃないか             | まちがった答えを言おうじゃないか  |
| まちがうことをおそれちゃいけない             | まちがったものをワラっちゃいけない |
| まちがった意見をまちがった答えを             | ああじゃないか こうじゃないかと  |
| みんなで出し合い 言い合うなかで             | ほんとのものを見つけていくのだ   |
| そうしてみんなで伸びていくのだ              |                   |
| いつも正しくまちがいのない                | 答えをしなくちゃなんと思って    |
| そういうとこだと思っているから              | まちがうことがこわくてこわくて   |
| 手も上げないで小さくなって                | 黙りこくって時間がすぎる      |
| しかたがないから先生だけが                | 勝手にしゃべって生徒はうわのそら  |
| それじゃあちっとも伸びてはいけない            | 神様でさえまちがう世のなか     |
| ましてこれから人間になろうとしている僕らがまちがったって |                   |
| なにがおかしいあたりまえじゃないか（後略）        |                   |

という詩です。この詩は、まだ、続きがあります。全文を昇降口に貼ってありますので、ご覧になってください。ぜひ、この詩のようなクラス、集団を作り、多くの成功、失敗を重ね、大きく成長してください。

もう1点お話しします。それは、周知のように、今年度で、野田中学校が閉校となります。35年間の歴史です。野田中最後の年を思い出に残る年にしましょう。そして、スムーズな統合にしましょう。そのためには、皆さんの協力が必要です。よろしくお願いいたします。